

# かわにし

議会だより

第125号

2016

4.15



## こぼれる笑み

小松小学校入学式より P27に関連記事

### 政策検証

一定の評価 なお課題 .....	2
28年度予算 2年連続100億円超え ..	6
一般質問 5議員が町政をただす ..	15
議会だより 2年連続最優秀賞 .....	32

# 26年度政策検証

3月23日、定例会最終日に、26年度検証評価報告書が加藤議長から原田町長に手渡された。

議会基本条例に規定した、開かれた議会のテーマのもと、町民との意見交換をもとに、町行政の施策の分析と討論を行った。これで「提言→検証→評価」のサイクルが終了することになる。また次年度のサイクルも並行して開始しており、議会側としては常に検証と評価が要求される。議会本来のチェック機能が今まで以上に強化されることになる。

2度目の政策検証となるが、重要性の高い項目に検証評価が集中しがちである。昨年と同じ項目もあり、スピード感がなければ評価が上がらないともいえる。

## 一定の評価

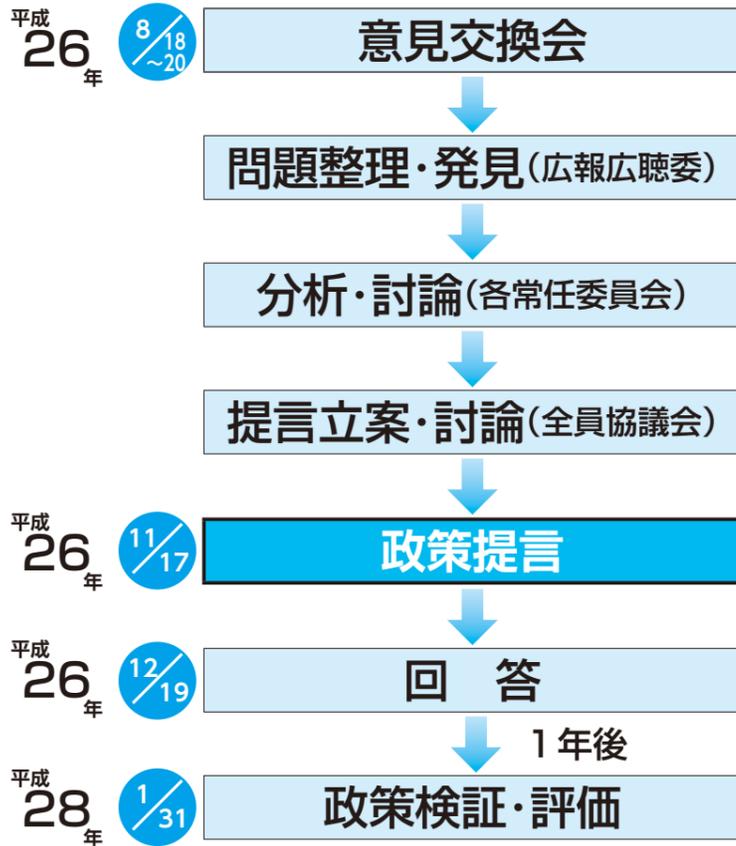
## なお課題



さあ、今年の評価は。加藤議長(左)から原田町長に報告書が手渡された

### 政策検証

#### 政策提言検証の流れ(平成26年度)



検証と評価の手順及び基準については、議会基本条例に定めがなく、先進事例も少ない。このため、広報広聴常任委員会を中心に議会運営委員会や議員全員協議会で協議し、本町議会独自の評価方法を決定している。今年は2回目の検証評価となるが、ほぼ昨年度の検

証評価方法を踏襲した。方法も改善点があれば常に見直すことにしている。

#### 具体的な評価方法は

平成26年12月の町長からの回答書をもとに、担当の常任委員会ごとに検証を行った。具体的な検証基準は、議会基本条例第8条に明記

された①政策を必要とする背景、②提案に至るまでの経緯、③町民参加の実施の有無及びその内容、④ほかの自治体の類似する政策との比較検討、⑤総合計画における根拠又は位置づけ、⑥財源、⑦将来にわたる政策などの効果及びコスト、の7項目を「ものさし」としている。担当課から回答後1年の施策実施状況の聴き取りを行い、その後各議員が5段階の評価を行う。全議員の平均

点とその項目の評価となり、評価Aは平均点4・5以上、Bは3・5以上、Cは2・5以上、Dは1・5以上、1・4以下がEとなる。それぞれの評価基準は表のようになる。

#### 検証評価のシステム自体も検証し、進化する

検証評価のシステムは、まだまだ十分とはいえない側面もある。議会側はどうしても当面する重要項目に注目

しがちとなる。同じ項目の評価の繰り返しや初めての評価をする議員にとっては進捗(しんちよく)が十分に把握できない点があるなど、一般的に評価が辛くなる傾向がある。システム自体も検証し、進化を目指して評価の仕方の工夫も必要となる。

なお、検証評価の基準日は、1月31日とした。

#### 政策検証評価の基準

- A** 必要な取り組みを着実に実施、その結果、目標達成ないしほぼ達成
- B** 必要な取り組みを着実に実施、その結果、達成に向けて具体的成果が見られる
- C** 必要な取り組みをおおむね実施、その結果、一定の成果が見られ始めている
- D** 必要な取り組みに着手しているものの、目標達成までには、なお課題が残されている
- E** 取り組みに向けた検討に着手、目標達成に向けた具体的展開が今後の課題である

# 公共施設

## 「総合管理計画」策定を評価

### 提言1



多くの園児を送り出した園舎。改築が予定されている小松保育所

#### 1 評価 複合化の方向は評価

提言(1)の施設の現状を把握、整理・分析し、住民参加のもと、町有施設の総合管理計画を策定することについて—はB評価となった。

28年3月末を目途に、町民の意見を聞きながら、町有施設の「公共施設等総合管理計画」を策定中であり、総合計画にも盛り込んでいく。町民からの意見の具体的な内容について、開示がないのが残念であった。

#### 2 評価

### まちづくり全容を示せ

提言(2)の町有施設建設の際は、総合計画との整合性をとり「まちづくり」の視点で計画的に進めること—はD評価となった。

町役場をはじめ町有施設は、町民のシンボルであり、「まちづくり」の土台である。管理

#### 3 評価

### 町民に提示し、意見を聞くべき

提言(3)の施設の機能と役割を明確にし、利用者の利便性や安全性、機能性を重視するとともに、複合化すること—はD評価となった。

将来の債務負担を総合的に考えること。現実

#### 4 評価

### 点検・検証は制度化へ

提言(4)の施設建設後の点検・検証を制度化すること—はC評価となった。

国からの進捗状況の評価を実施するよう求められており、策定中の「公共施設等総合管理計画」に入れるよう検討していることは評価できる。今後、整備中も含め、施設建設後の確実な実行を求める。なお、「公共施設等総合管理計画」は3月18日に公表された。



老朽化を物語る中央公民館裏階段

### 提言2

# かわにし森のマルシェ経営責任明確化

#### 提言

#### 1 評価 指定管理制度上問題あり

提言(1)の経営母体となる運営組織を早期に立ち上げ、その営業プランを主体とした実施設設計とすること—はC評価。

すでに、平成27年3月に株式会社かわにし森のマルシェを設立したことは評価できる。



「かわにし森のマルシェ」期待を込めて、いよいよオープン

#### 2 評価

### 団体客も十分対応できるか

提言(2)の大型バスなどの受け入れを考慮し、施設のレイアウトを再検討すること—はB評価。

団体客の利用も考慮し、トイレスペースを拡充し、大型車のスペースも確保したことは評価できる。今後、観光バスなどの大型車が立ち寄るような経営努力を期待したい。施設レイアウトについては、

#### 3 評価

### 置農生の活躍にも期待

提言(3)の置賜農業高校との連携を重視し、その実績を生かせる施設とすること—はB評価。

町と置賜農高との連携に関する協定書を締結し、さらに、27年度に事業補助金を創設し

活動支援を行なったことは評価できる。今後情報交換を密にし、高校生の発想が生かせる仕組みを作るべき。具体的には、運営する森のマルシェ側と協議する必要がある。



置農ブランド、東京銀座アンテナショップ「おいしい山形プラザ」でも大好評



「子育ての町川西」 かがやく瞳が未来ビジョン(美郷幼稚園卒園式)

## 3月定例会の あらまし

3月定例会が3月4日から23日までの20日間の会期で開催されました。

第1日目に、人事2件、給与改定の条例、補正予算3件、議員発議1件を審議した後、条例7件、町道認定1件の審査を常任委員会に付託。条例等2件、本年度補正予算、新年度予算等11議案の審査を予算特別委員会にそれぞれ付託しました。

第4日目に、一般質問を行い、5議員が、国際交流、観光行政などを取り上げ、町政をただしました。

第5日目を以降に、常任委員会、予算特別委員会分科会を開き、議案を審査しました。

最終日に、予算特別委員会の採決後本会議を開き、付託した21議案を原案通り可決。追加提案された人事2件、条例1件を審議した後、請願1件を採択し、2意見書を発議、閉会中の事務調査を許可して、閉会しました。

なお、今期定例会の傍聴者は5人でした。

# パークゴルフ場を造成

## トマトハウス 「強い農業」交付金活用

**平成28年度一般会計予算の特徴**

①当初予算で前年度当初比0.3%減だが、2年連続の100億円超え。

②投資的経費は6億円余減の13億8454万円。借入金は14億1360万円。

③社会保障経費の自然増、公債費(借入金)の増額。基金繰入金は4億8557万円。

平成28年度の一般会計予算の総額は、前年度対比0.3%減の、105億7600万円、大型予算の編成となった。

**未来ビジョン具現化**  
かわにし未来ビジョン(第5次総合計画)、総合戦略の具現化を目指し、主要プロジェクトに重点配分された。財政の健全化に努め

ながら、パークゴルフ場の造成、虚空蔵山西線道路改良に引き続き取り組むほか、農業の生産力向上に向け、国の「強い農業づくり交付金事業」や、「かわにし森のマルシェ」を拠点として6次産業化の推進を図る。

**若者の定着化に力**  
また、これまで力を入れてきた若者の定着

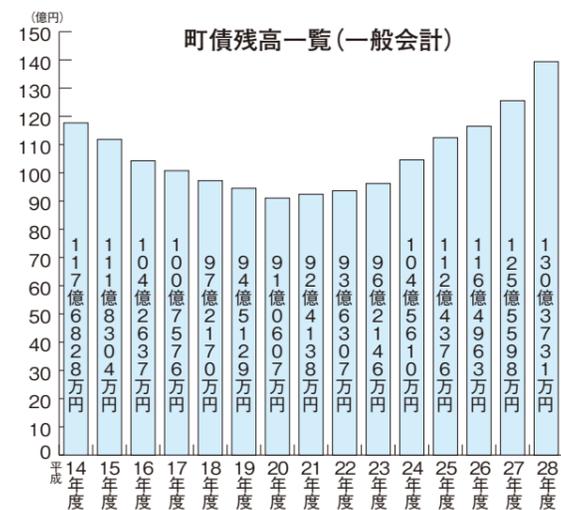
化、子育て支援、移住定住を促進するため、上限1000万円の補助金を出す勤労者住宅支援事業、中学生までの医療費無料化を継続して実施する。新規事業として、町内の中学3年以上を対象に英語検定額支給するほか、指導主事を2人体制とする。30歳の若者を対象に絆を深める「2分の3成

人式」を開催する。議会では、予算特別委員会では、詳細な説明を受け、徹底した議論を行い、慎重に審議を重ねた。

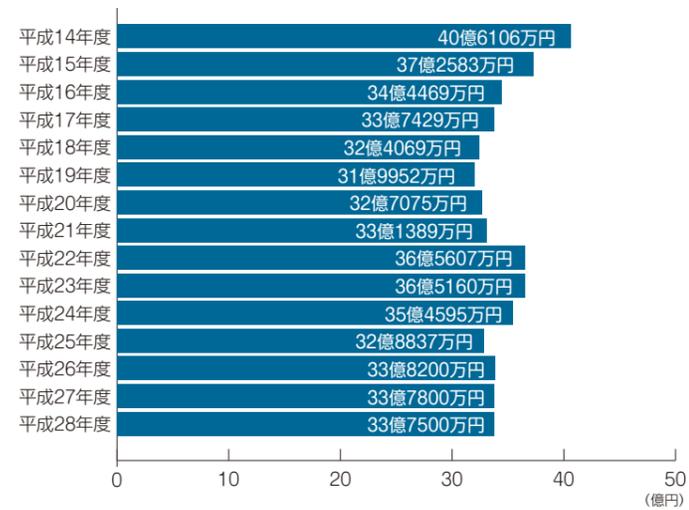
議会からは、大型の投資的事業が続いたことによる、借入金の増加や繰入金増加による財政運営を危惧する質疑や、低迷する町経済を不安視する意見などの質問が相次いだ。

## ここが知りたい

### 町債(借入金残高)の推移



### 地方交付税の推移(置賜広域病院組合分を除く本町純粋分)





「子育ての町川西」中学3年生までの医療費無料化を継続(川西中学校入学式)

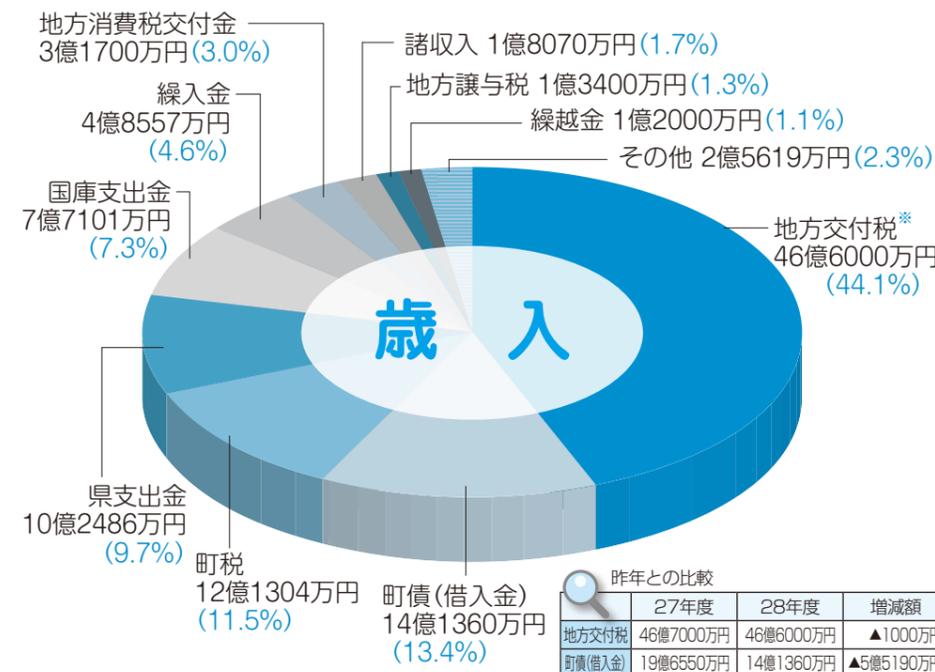
## 平成28年度各会計予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計	105億7600万円	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計	20億3334万円	賛成多数により可決(反対1人)
下水道事業特別会計	5億6221万円	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計	9195万円	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計	18億3305万円	賛成多数により可決(反対1人)
後期高齢者医療特別会計	1億5492万円	賛成多数により可決(反対1人)

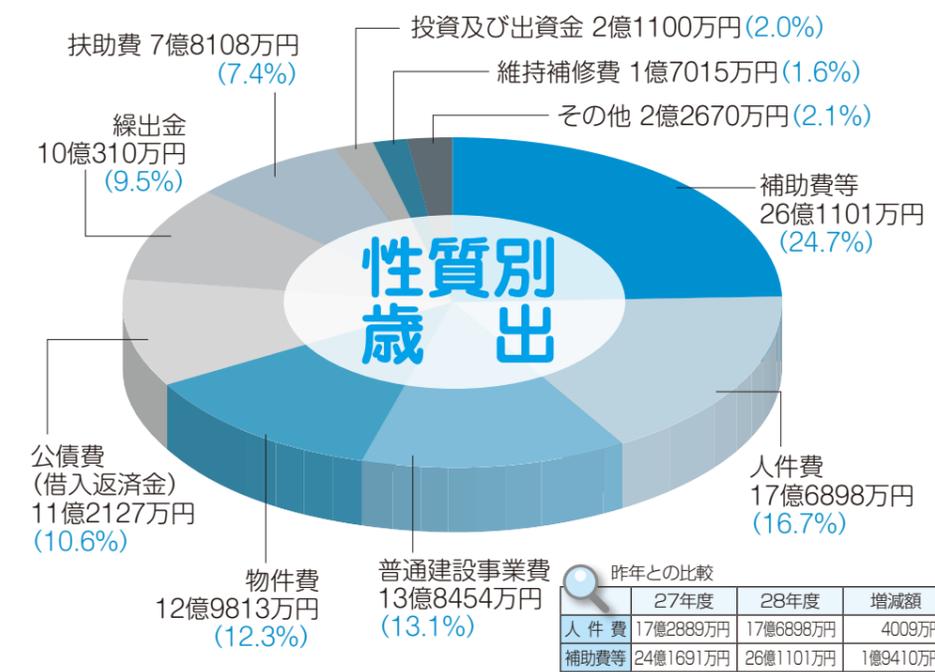
企業会計		収入	支出	議決の内容
水道事業会計	収益的	5億1825万円	4億9341万円	全員賛成により可決
	資本的	2億3300万円	*3億6243万円	

\*資本的収支：不足する1億2943万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補てん

予算特別委員会は、常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など7会計の予算、関係条例を審査した。ここでは総括質疑、分科会での質疑を要約した。



## 一般会計 105億7600万円



\*地方交付税 公立置賜総合病院分は本町に交付され、その後病院に支出される。病院分を除いた本町純粋分は33億7500万円。

## 総括質疑

### 町の成長率がマイナスだが

橋本 欣一 議員

**橋本** 2月28日、県の25年度の市町村別の経済成長率を発表した。川西町は前年度に比べマイナス成長となった。川西町は前年度に比べマイナス成長となった。マイナス成長は県内で5市町村だけで、置賜では唯一マイナスであるが原因と対策は。

**町長** 前年度に大型事業があり、比べるとマイナスとなったもの。26年度には米価の低迷などがあったためマイナス幅は大きくなると思う。進出企業の定着を誘導し、事業所を増やしていきたい。

### 「権不十年」をどう捉えるか

鈴木 清左衛門 議員

**鈴木** 施政方針で、3期12年の経験を生かし、町政発展にまい進するというのが「権不十年」という言葉をどう捉えるか。

**町長** 1期4年の積み重ねであり、自

## パークゴルフ場整備

1億9654万円



ふれあいの丘（小松スキー場付近）に4コース、36ホールのパークゴルフ場を整備する。2月までに用地買収を完了し、本年度はコースの造成を行う。芝張りの時期は現在のところ未定だが、春から初夏が最適とされていることから、来年度を想定している。芝張り後の養生を経てオープンされる。

## 私もひとこと

### パークゴルフ場の完成が楽しみ

大塚地区 西村 文二 さん

川西町にパークゴルフ場が建設されることで、より一層スポーツへの関心が高まり、多くの愛好者等、町内外の利用が見込まれます。今後は、本町への大会誘致や、利用者の情報発信などで、さらなる地域振興と「健康で生きがいのあるスポーツのまちづくり」を期待します。



## 新規

## ライフプラン支援

1110万円



コーディネーター講習会

新規事業。2分の3成人式、結婚支援コーディネーター事業により、若者層を中心としたライフプラン（出会いの場づくり）を行う。  
2分の3成人式は、30歳のネットワーク再構築、川西帰郷へのきっかけづくり、地元ブランドの再確認と発信等を目的に対象学年が実行委員会を組織して実施する。



## 28年度 予算

## 虚空蔵山西線道路改良

1億3674万円

西回り幹線道路の南側にあたる虚空蔵山（こくぞうやま）西線の整備が進む。八相山線から米沢に至るルートは1420mで、内1080mが川西町分である。昨年度は、一部用地買収埋蔵文化財の予備調査を実施。本年度は、残りの用地買収と埋蔵文化財の本調査を行い、田面の切り下げ工事を予定している。この道路が完成すると西回り幹線道路の整備が終わり、長井・飯豊方面から米沢市へのアクセスが大幅に改善される。完成年次は平成31年の予定。



もうすぐ着工

## 新規

## 女性農業者支援

359万円



女性の視点で経営を

新規事業。意欲ある女性農業者が、高い社会的評価や位置付けを得て活動できるよう、町独自の認定女性農業者制度を創設するとともに、各種支援を行う。支援事業補助金として300万円。貸付資金利子助成として貸付上限200万円の利子助成を行う。  
地方創生推進交付金（国2分の1）を充てる。

## 私もひとこと

### 女性農業者の交流の場を

小松地区 江本 牧子 さん



私は、6次産業で農産加工品を生産販売していますが、女性農業者の交流の場が少ないことが残念です。女性農業者の位置付けをきちんとし、交流の場が必要だと思います。意欲的に農業を楽しめる女性が増えれば、川西の農業はもっと面白くなると思います。

## 新規

## 川西版CCRC構想の策定

1180万円（繰越明許）



置病周辺に予定か

東京圏からの移住定住を促す「日本版CCRC構想」が国から示され、地方創生の取り組みの一つとして各地で構想が策定されている。川西町でも公立置賜総合病院周辺の開発を視野に、CCRC導入に向け調査研究及び計画策定を行う。財源は地方創生加速化交付金（国10分の10）を充てる。（関連P22）

## 私もひとこと

### 病院周辺の環境整備に期待

吉島地区 青木 寛子 さん



公立置賜総合病院周辺に、コンビニや飲食店が、利用しやすい形であればいいと思います。また、病院周辺は、季節の木々や花々が人の目を楽ませてください。整備が図られ、これからはたくさんの人の心を和ませる環境が広がるとうれしです。

# 「かわにし森のマルシェ」5月オープン

## 置賜農業高校と連携強化



あとは納品されて開店を待つのみ「かわにし森のマルシェ」

**問** いよいよ、5月14日に「かわにし森のマルシェ」がオープンするが、置賜農業高校との連携はどうか。

**産業振興課長** 置賜農業高校との連携について、昨年3月に町と協定を締結し、主に6次産業化に係るソフト事業用に町単独で連携事業補助金を措置している。また、「かわにし森の

**問** マルシェ」でも、学校の紹介や商品開発、販売実習などができる置農コーナーを設ける予定である。

**問** 老人クラブが減少しているが、高齢者生きがい事業への対策はあるのか。

**健康福祉課長** 老人クラブの減少の要因は単位クラブ及び、連合会の役員への就任があるようだ。役職の負担軽減

**問** 町には女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

**産業振興課長** 町には女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

**問** 女性農業者への支援を新たに設けたが具体的な施策はなにか。

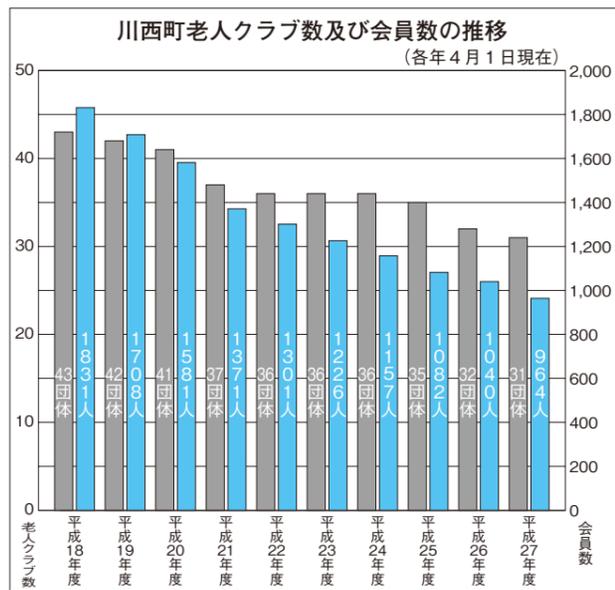
**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

**問** ダリアの球根ウイロス、ウイロイド（矮化（わいか））して商品にならない）が高い頻度で発生しているが対策は。

**産業振興課長** 県のダリア産地強化プロジェクト会議でも課題となっており、農業技術普及課や産地研究室でも調査に取り組んでいる。

**問** ダリアは、町の観光資源でもあり緊急対策として早急に対応する必要がある。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定



**問** 女性農業者の育成を図る。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

**問** 女性農業者が活躍できる体制づくりを推進すること。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

**問** ダリア園施設整備事業の内容は。

**産業振興課長** 園内の遊具の改良を行うとともに、チケットブースの屋根改修を実施する。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

# 予算 審議



入口付近も拡張、着工間近——パークゴルフ場予定地

**問** ふれあいの丘（パークゴルフ場）整備は何カ年計画で実施するのか。

**まちづくり課長** 平成27年度で用地買収が終了し、平成28～29年度の2カ年の計画で36ホールの

**問** コースの芝は重予定である。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

**問** ふるさとづくり基金管理事業（ふるさと納税）について、さらなる充実を図れないか。

**企画課長** ふるさと納税に、新たにクレジット決済の導入、金額に応じた返礼品の設定などシステムの充実を図っている。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

**問** 町の玄関でもある小松駅の公衆トイレが老朽化している。改善できないか。

**企画課長** 近年の投資的事業の増大により、平成28年度末で起債残高が約130億円となり、起債残高や実質公債費率については平成30年度にピークを迎える。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

**問** 特色ある学校づくりの推進事業の内容はどうか。

**教育課長** 中学校の英語検定の検定料を補助するものであり、3年生の8割程度の受検者を見込み、平成31年度まで3級以上合格率50%を目指している。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

# ふれあいの丘

## パークゴルフ場の整備を進める

**問** コースの芝は重予定である。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

**問** 今後のさらなる財政の健全化に向け、計画的な執行管理を行うこと。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

**問** 防災対策事業についてどう考えるか。

**総務課長** 各地区自主防災組織への支援として、防災士の資格取得、資機材整備に係る補助を引き続き行う。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

**問** 町民の防災意識向上を図り、自治会単位で独居世帯、高齢者世帯を把握する方策について研究すること。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

**問** 小松駅の公衆トイレが老朽化している。改善できないか。

**企画課長** 近年の投資的事業の増大により、平成28年度末で起債残高が約130億円となり、起債残高や実質公債費率については平成30年度にピークを迎える。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

**問** 今後のさらなる財政の健全化に向け、計画的な執行管理を行うこと。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

**問** 防災対策事業についてどう考えるか。

**総務課長** 各地区自主防災組織への支援として、防災士の資格取得、資機材整備に係る補助を引き続き行う。

**健康福祉課長** 町では女性の経営者がほとんどいない状況であり、町独自の制度として認定

※プロポーザル方式 建築家たちに設計の考え方を提案させ、説明を受けたうえで決定する方式。

# 町長に聞く

平成28年度の予算について、特に政策的な事項を町長に聞いた。

## 移住定住をどう進める

### 川西版CCRCに期待

のか。

**問** 首都圏に住む高齢者は、第二の人生として地方へ移住し、これまで以上に健康的に生活を送りたいという希望が多い。

CCRC構想の意義として、①高齢者の希望の実現②地方への人の流れの推進③東京圏の高齢化問題への対応があげられている。川西版CCRC構想をどのように策定していく



健康的に暮せるまちづくりを

**町長** 公立置賜総合病院の高度医療や国道287号、113号の整備により地理的優位性を生かし、総合戦略のリーディングプロジェクトに位置付け、今年度可能性調査を実施している。

CCRCの導入については、その一環として慎重に検討し、国・県が示す考え方を踏まえ、実行性のある事業推進を図っていきたいと考えている。国・県等の支援策が十分に整っていないことが課題と認識している。

**意見** 移住者には、雪上での課題や弱点も理解していただき、地域の方々と一体となっ

て地域活性化に取り組むようなCCRC構想となるよう、調査・検討を進めてもらいたい。

## 雇用創出のため、企業誘致と創業支援を

**問** 町の経済活性化や若者の定着・定住を促進するには、企業の誘致が欠かせない重要な課題である。

総合戦略の中で2040年の人口を1万2000人とし、人口減少対策を実施するとしているが、働く場所を確保する必要があるのではないか。

**町長** 企業誘致の現状として、尾

長島工業団地には、現在3社が操業中である。また、進出を予定し用地を取得済みの企業が1社あるが、事業化が進んでいないので、早期の操業を要請している。さらに現在、尾長島地内において大規模なハウスでトマトを生産する事業計画が進められているが、これも大きな雇用が予定されている。町としても事

業推進に当たり、さまざまな支援を図りたいと考えている。

創業・起業支援については、町創業支援利子補給制度を平成18年に新設し、事業を始める方の支援を行っている。

**意見** 適正な用地の確保やIT環境の整備を図り、さらに創業・起業につながる施策を検討すること。



工場の増築で、企業力アップ

# ここが聞きたい！

# 町政をたずねます

## 一般質問

# 5人の議員が一般質問

定例会第4日目に一般質問が行われ、5人の議員が町政について質問しました。

通告順（発言順）に掲載いたします。

淀 秀夫 議員

- 16<sup>P</sup> ① 地方自治に対する所見について
- ② 町当局のかじ取りは
- ③ 地方分権の考え方について

伊藤 寿郎 議員

- 17<sup>P</sup> ① 窓口サービス向上へのマニュアル整備について
- ② 窓口業務のアウトソーシングについて
- ③ 観光誘客における今後の展開について

伊藤 進 議員

- 18<sup>P</sup> ① 獲得した川西ブランドの品目数は
- ② 川西ブランドの浸透、発展はどのぐらいか
- ③ 地理的表示保護法の状況について
- ④ 町民からの意見と女性活躍推進法を生かせるか

橋本 欣一 議員

- 19<sup>P</sup> ① 国保税の負担軽減をはかれないか
- ② 国の国保支援はどうなっているか
- ③ 国保広域化について
- ④ 「交流」の中での国際交流はどう位置づけるか
- ⑤ 特にメキシコ、ブラジルとの交流はどのような形にするのか
- ⑥ ダリアサミットの発展的継続はできないか

鈴木清左衛門 議員

- 20<sup>P</sup> ① インターネットにおける現状について
- ② 企業などの高速大量データの対応について
- ③ 異業種間の組み合わせによる商品開発について
- ④ メキシコとの交流について
- ⑤ 広告収入について
- ⑥ 日本版「DMO」について
- ⑦ 町政運営に対する結果について

白抜きの数字は掲載された質問ですが、それ以外は紙面の都合により掲載できませんでした。その内容は、議会ホームページの録画中継によってご覧になれます。

(<http://www.town.kawanishi.yamagata.jp>)

### 一般質問とは

一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしている。本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられている。

また、質問に対する答弁書が作成され、一般質問当日の朝に全議員に配布される。質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされている。再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができる。

# 一般質問

## 政治姿勢

### 地方自治に対する町長の所見は

#### 町長ー公共的サービスを提供すること



淀 秀夫 議員



町民との対話から何かが始まる——ふれあいトークより

**淀** 著しい人口減少、少子高齢化の社会現象の中、身近に生活実感が湧かないという声がある。町長の政治姿勢が不明瞭な点もある。3割どころか2割弱ともいわれる、地方自治に対する町長の所見は。

**淀** TPP 町への影響は政府はTPP（環太平洋経済連携協定）の大筋合意に至ったが、町議会でTPP反対の意見書を提出している。TPPが町に及ぼす影響は、

**淀** 日本国憲法には地方自治について、第92条から第95条まで明記している。第94条には、地方公共団体の機能として町議会も含まれており、法律の範囲内で条例を制定できる。町議会で条例の専決処分の承認を行ったが「改正の改正の改正」という、一般には複雑で分かりにくい

**町長** 地方自治の本旨にそって、自主性・自律性を生かせるよう、国に権限及び財源移譲を働きかける。住民参加のもと、協働して町政のかじ取りを担っていききたい。

**町長** 地方分権はきめ細かな仕事、地域の意向反映、敏速、柔軟な対応などに優位性がある。広域行政は、単独では困難な課題に対して、スケールメリ

**淀** 「地方消滅」の増田レポートによれば、川西町は若者の定着率が低く、24年後には人口が9000人に減少すると予測している。身近に生活実感が湧くような町当局の町政運営を望む。

**町長** 必要な公共的サービスを提供する政治・行政のやり方を地方自治と認識している。

**町長** TPPは関税の問題だけではなく、農業の振興に向け、農地の集積や、法人化など、将来の観点から論議を深めたい。

**淀** 条例審議があった。県のもとで、自治としての町行政のかじ取りは。

**淀** 置賜3市5町に、置賜広域行政事務組合と、置賜広域病

**町長** 地方分権はきめ細かな仕事、地域の意向反映、敏速、柔軟な対応などに優位性がある。広域行政は、単独では困難な課題に対して、スケールメリ

**所見** 生活実感と政治姿勢について、質問と答弁が微妙に食い違っていた。

## 窓口業務

# 窓口業務のアウトソーシングは

## 町長ー29年度に方針を決定

**伊藤** 窓口サービスの向上を図る上で基本マナーマニュアルの整備と駐車場拡大は、

**伊藤** 窓口業務のアウトソーシングは、平成29年度中に導入の有無も含めて方針を決定し、経費節減を図り、住民へのサービス向上につな

**町長** 「ふれあいの丘」から町中心部への誘導についても、商業者や飲食業者と連携し、町内ガイドブックの充実や周遊ルートモデルコースづくりなどを進め、地域経済の活性化を目指す。

**町長** 「ふれあいの丘」から町中心部への誘導についても、商業者や飲食業者と連携し、町内ガイドブックの充実や周遊ルートモデルコースづくりなどを進め、地域経済の活性化を目指す。

**町長** 「ふれあいの丘」から町中心部への誘導についても、商業者や飲食業者と連携し、町内ガイドブックの充実や周遊ルートモデルコースづくりなどを進め、地域経済の活性化を目指す。

**町長** 町民の方々が気持ちよく役場を利用頂ける接客を行うよう職員に対して注意を促す。職員研修事業においてもビジネスマナー研修や接客研修を取り入れ、職員の接客向上を図っている。また、駐車場が狭く十分なスペースが確保できないことや、庁舎の建物が複数箇所に分かれているなど、根本的な課題がある。町民の方々に迷惑をかけている場合もあるので、

**伊藤** 今後の観光誘客にあいの丘整備計画と川西ダリヤ園をどのよう

**町長** 「ふれあいの丘」が四季を通じた観光地として賑



窓口は町民とのかけはし、行政サービスの要

わいを創出するため、自然環境や雪などの資源を活用する。既存施設の充実とサービスの向上を図り、併せてその魅力を町内外に広く発信していく。特に川西ダリヤ園の花の充実と、園内施設

現在事業を進めている「パークゴルフ場」は平成29年内オープンを目指し、より多くの人が集まり楽しむエリアにしていきたい。



伊藤寿郎 議員

# 国民健康保険税の引き下げを

## 町長 一年々増加する医療費に苦慮

**橋本** 近年、高すぎる国民健康保険税を引き下げるために、一般会計から国保特別会計に支援する市町村が多くなった。県内では、支援しない市町村が5自治体だけとなった。川西町も含まれ、国保税の高さは県内でも上位である。

**町長** 国保会計は国保加入者が保険税負担で運営される特別会計である。法律で定められた範囲以外での一般会計からの支援は、国保加入者以外の町民にも負担を強いるため、安易に支援すべきでないと考えている。

**橋本** 国保基金積立金は県内では中位にあり、積立金を取り崩しながら国保税の引き下げを図る方法もあるのではないかと。

**町長** 本町の基金積立の残高は3億9000万円である。予期せぬ急激な医療費の増加に対応するため、年間保険給付の25パーセントの積立の指導があり、約2億円不足する状況である。

また、公立置賜総合病院があることにより、他市町村より高度医療が受けやすいため、県内でもトップクラスの医療費となっている。

**橋本** 27年度から1700億円の国の国保支援が始まるが、これにより国保税引き下げにつなげられないかと。

**町長** 国の支援は、低所得者向けの軽減措置の拡大に充てられるもので、2000万円ほど交付されると想定している。

なお、27年度の決算見込みは、7000万円の赤字になる見込みである。基金積立から5000万円取り崩し、国の支援2000万円で、国保税の引き上げを抑えていきたい。



橋本欣一 議員



ジェネリックの利用で医療費削減効果——研修会

**国際交流の進め方は**

**橋本** 昨年、ダリアサミットなどで、メキシコ大使館やブラジルの友好団が来町された。また、置賜農業高校が台湾の学校と姉妹校の締結が行われるなど、今までの交流以上に国際交流が進んできた。時あたかもインバウンドの時代、観光とともにどう進めるか。

**町長** ダリアを通して、球根贈呈でブラジルとの交流を図ってきた。今後は、観光等で地域経済活性化につながるための具体的な検討に入る。特にメキシコ大使からは緊密な交流発展のために訪問したいとの連絡があった。ダリア園開園中にメキシコデーを設けるなどで交流を盛り上げていきたい。

\*ダリアとダリア 川西町では固有名詞はダリア園、花はダリアと使い分けている。



私もお薦め、川西物産品。町内ブランド再発見

**伊藤** 第4次総合計画では、「町づくりの構造改革・町づくりブランドの獲得」という考えで取り組まれていたが、獲得した「ブランド」はどのようなものがどれくらいあるか。またどのように浸透し発展しているか。

**町長** 紅大豆は、平成19年2月に山形伝統野菜に認定。平成21年10月に町が商標登録「紅大豆」を取得。

他に約30種の豆がある。豆以外には、米、米沢牛、むくり鮎、餅、米粉のスイーツ、漬物などがある。

**伊藤** ブランド認定制度の導入を行うというところであったが、現在のところ認定制度までに至っていない。コンセプトを立てて検討し、合致するものを拾い上げ、絞り込んだが近隣と類似。このブランドイメ

ージでは厳しいという結論に達し、方向転換することにした。

「町として統一したコンセプトによるブランド化」「町内産品のブランド化」に取り組んでいく。

**伊藤** 地理的表示保護制度についてはどうか。

**町長** 農水省所管の制度で、登録要件や品質管理面での要件が相当厳しく、登録へのハードルは高い。「地域団体制度」という、「地域名」「商品名」を合わせた特許庁所管の制度がある。両制度の違いを見極めながら、本町の状況や産品の特性を踏まえ、登録申請を目指す団体に支援を行いたい。

**伊藤** エコファーマー取り組みに支援

**町長** 女性職員の人材育成を図り、計画的な登用の必要があると考える。また、ワークライフバランスの推進に努めたい。

今後とも、適正配置に努め、男女とも働きやすい環境となるよう改善していく。

\*地理的表示保護制度 産地との結び付きが特定できる、高い品質と評価を獲得した産品を保護する制度。  
\*ワークライフバランス 仕事と生活の調和。

## 獲得したブランドの浸透・発展は 町長 統一コンセプトによるブランド化を図る



伊藤 進 議員

**伊藤** 環境保全という観点で、安心安全を標ぼうする一つのアピールになると思う。取り組み方へさまざまな支援を続けていきたい。女性活躍推進法を生かせるか

**伊藤** 組織改編がなされるということだが、それに伴う人事異動が行われる。昨年9月施行の「女性活躍推進法」が、組織改編の中で生かされるのか

**町長** 女性職員の人材育成を図り、計画的な登用の必要があると考える。また、ワークライフバランスの推進に努めたい。

# 一般質問



鈴木清左衛門 議員

## ICT インターネットの通信環境を整備せよ 町長―光回線の敷設を求めていく

**鈴木** 現状における有線ネットワーク環境は、既存の独占的なデータ関連などにおいて、使用できない状況にある。NTTの通信環境の導入を早急に進めるべきで、いつまでどう進めるのか。

案として、光回線の敷設をできるだけ早く実現できるように求めていく。

**鈴木** 異業種間をマッチング（組み合わせ）する業者を利用することで新たな展開が期待できるのではな

いか。

メキシコとのさらなる交流は、相互理解を深めることとなり、経済交流へと発展することを期待したいが、どう対応するのか。

異業種組み合わせは、生産者として、民間レベルでの交流が促進されるよう、行政ができる範囲で積極

的に支援していきたい。

広告収入として、町のホームページに広告のバナーを設定することにより、多くの広告収入を得られるような対応を問う。

異業種組み合わせは、生産者として、民間レベルでの交流が促進されるよう、行政ができる範囲で積極

的に支援していきたい。

〇、つまり観光庁が発表した着地観光を広める上での拠点として、法人化された事業所を申請し、登録を受けることによりさまざまな政府からの支援を受けることができる。『まち・ひと・しごと創生本部の新型交付金による支援の対象になり得ることに加え、観光庁をはじめとする関係省庁（観光庁、国土交通省、内閣官房、総務省、金融庁、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省）で構成される「日本版DMO」を核とする観光地域づくりに対する関係省庁支援チームを通じて、重点的に支援を実施する予定である』という状況において、どう展開し射止めるのかを問う。

**町長** 観光推進の母体となるべき観光協会の法人化が進んでいないことから、「日本版DMO」の活動内容や組織化手法の研究を行っていく。



高速通信は時代の要請

※高速インターネット NTTデータだけが有するサービス。大量のデータを高速で通信できる。  
※DMO 法人化が条件の地域観光振興を目的とした組織。本県での設立は長井市が初めて。

## 過疎法5年延長

# 過疎債を効果的に活用

過疎地域自立促進特別措置法の失効期限が5年間延長されたこと、平成26年の法改正により、過疎地の現状を踏まえ、過疎

地域の要件の追加及び過疎対策事業債の對象施設の追加が行われたことを受け、引き続き「過疎地域自立促進計画」を策定した。



県内最大数(11人)の地域おこし協力隊で活性化を図る

過疎法に基づく財政上の特別措置等を受ける場合、引き続き過疎地域自立促進市町村計画の策定が必要となっている。

そのため引き続き「川西町過疎地域自立促進計画」を、策定するものである。計画期間は平成28年4月1日から平成33年3月31日の5カ年間。

前期計画から、基金を活用することが可能となり、起業支援、子育て支援、人材育成交流の3分野において基

内 訳	合 計
過疎対策事業費総計	234億2500万円
ハード事業計	58億6396万円
ソフト事業計	175億6104万円
過疎対策活用可能事業費総計	65億4207万円
ハード事業分計	36億8574万円
ソフト事業分計	28億5633万円
過疎地域自立促進特別事業分	26億3133万円
過疎債ソフト基金積立分	(2億2500万円)

金造成を図ってきた。

新たな計画に盛り込む事業は、「かわにし未来ビジョン（第5次総合計画）」及び「川西町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の主要プロジェクト（地域経済活性化）「移住・定住促進」「生涯現役」

「女性にやさしいまちづくり」。これらとの整合性を図り、人口減少・少子高齢化の克服、地域の活性化に向けた、新たな地域の再構築を

積極的に推進していく。

ハード事業では、パークゴルフ場整備、老朽化した川西診療所及び小松保育所の整備を図る。ソフト事業では、地域おこし協力隊、生涯活躍のまち推進事業等を起点とし、事業展開を図っていく。3分野の基金積み立てを継続する。毎年の配分額限度額による調整を行い、過疎債の効果的な活用を努める。

全員賛成により可決

# 地方創生加速化交付金で2事業

川西版

## CCRC構想を策定

地方創生を促進するため、国が創設した「地方創生加速化交付金」に、町では地域活性化に向け3事業を申請し、2事業が採択された。

2事業は、「川西版 CCRC構想策定事業」1180万円、「フラワー長井線稼ぐ力創造事業」1650万円。「かわにし里の暮らし促進プロジェクト事業」は採択されなかった。

国からは、各自治体に交付限度4〜800万円、事業数は2事業までを目安として申請するようにという指示があった。町では2事業プラス長井線沿線市町の合同による申請（総事業費8400万円）を行ったもの。

川西版CCRC構想策定事業は「CCRC」の本町への導入に

係る調査研究を行うこととしている。「CCRC」については、国が地方創生の目玉として推進する事業である。このたび策定した総合戦略にも、盛り込まれている事業であることから、交付金を活用して取り組みたいとしている。

### 27年度補正予算



すこやかな老後を川西から提案 (地域ボランティアの会による芋煮会から)

### 平成27年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第7号)	113億2871万円 (1035万円を追加補正)	全員賛成により可決
一般会計(第8号)	115億9655万円 (2億6784万円を追加補正)	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計(第3号)	21億2776万円 (7236万円を追加補正)	全員賛成により可決
下水道事業特別会計(第3号)	5億4808万円 (8万円を追加補正)	全員賛成により可決
下水道事業特別会計(第4号)	5億4948万円 (140万円を追加補正)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第3号)	18億3898万円 (18万円を追加補正)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第4号)	18億3998万円 (100万円を追加補正)	全員賛成により可決

平成27年度一般会計補正予算(第7、8号)の主な内容	
<b>(歳出)</b>	
職員給与費	1008万円
川西版CCRC構想策定事業	1180万円
フラワー長井線「稼ぐ力」創造事業	1650万円
担い手確保・経営強化支援事業	1億4186万円
<b>(歳入)</b>	
財政調整基金繰入金(第7号・第8号)	4090万円
地方交付税	651万円
国庫支出金(地方創生加速化交付金)	2830万円
県支出金(担い手確保・経営強化支援事業費県補助金)	1億3835万円
町債(農業生産基盤整備事業債)	2010万円

**CCRCとは**  
Continuing Care Retirement Community  
「健康な時から医療や介護が必要になっても居住できる高齢者」コミュニティを意味する英語の頭文字。国は、地方創生の取り組みの中で、東京圏をはじめとする地域の高齢者が希望に応じ、地方や「まちなか」に移り住み、健康で活動的な生活が遅れるようにするため、その拠点整備の実現を目指している。

交付金事業は繰越明許費として、平成28年度に取り組んでいくことになる。

#### 国の第1次補正予算対応

国の第1次補正予算は、「1億総活躍社会実現の緊急対策」と「総合的なTPP関連政策」に沿って、3兆3213億円となった。町では、「自治体情報システムの強靱性向上」1364万円、「個人番号カードシステムの構築」278万円、「農業競争力強化基盤整備事業(高山、こう

#### 職員給与アップ

国家公務員等の給与改定に準じ、職員の給与を次のように改定する。  
○1100円を基本に給料を引き上げる。  
○初任給については2500円、若年層も同程度の引き上げを行う。

#### 主な質疑

**問** 自治体情報システム強靱(きようじん)性向上事業とはなにか。  
答: マイナンバー対策の強化を図るためシステム改修を委託するもので1364万円の補正額となる。

**問** 具体的な、端末からの情報持ち出し対策の実施、内部接続系と外部接続系とを分割、県と協力して自治体情報セキュリティクラウドを構築する。  
答: セキュリティ対策について、万全を期すこと。

**問** 町民の足であるバス路線維持についてはどうか。  
答: 山形交通バスの運行(米沢―小松線)による欠損金に対し、沿線自治体が路線距離に応じ補助金を交付している。補正額

**問** 国が地方創生加速化交付金事業に、沿線2市2町で申請している事業で本町の負担金は1650万円となるが、全額国から交付されるか。  
答: マイナンバー制度が施行されてから、3カ月が過ぎようとしているが、現状までの状況はどうなっているか。

**問** フラワー長井線「稼ぐ力」創造事業の負担は。  
答: 国の地方創生加速化交付金事業に、沿線2市2町で申請している事業で本町の負担金は1650万円となるが、全額国から交付される。

**問** 個人番号カードの交付状況については、申請件数672件、交付件数は289件である。(3月10日現在)

※繰越明許 年度内に予定していた事業が終わらず、予算を次年度に繰越して事業を完成させること。議会の承認を必要とする。

# 条例

## 初の中小企業振興条例

### 中小企業の振興策

### 理念を共有

まちづくりを進めるには、中小企業・小規模事業者の振興が不可欠である。このたび、振興についての基本理念や町、事業者、関係機関等の役割、施策の基本を定め、町民生活の向上に寄与するため中小企業振興条例を制定した。



企業誘致には条件整備が肝心

本町の中小企業・小規模事業者は、地域経済をけん引するとともに雇用を創出する源であり、地域社会の一員として住民生活を支える大きな役割を担っている。

#### 基本理念を条例に

この条例は中小企業・小規模事業者の努力、中小企業団体、金融機関及び教育機関の協力、町民の理解と協力を確認し、町の基本施策の基本となる事項を定め、中小企業・小規模事業者の振興に関する施策を総合的に推進することで、地域経済の持続的な発展を図り、地域社会の発展に

よる町民生活の向上に寄与することを目的としている。

また、中小企業・小規模事業者の、自主的な努力が助長されること。人材、技術及びその他地域資源を活用し、町内経済循環の促進が図られること。小規模事業者の持続的な発展が図られること。そして、この振興に関わる全ての人が共有できるような基本理念を定めている。

#### 全員賛成により可決

町はこの基本理念に基づき、中小企業・小規模事業者の振興に関する施策等を推進するため必要な財政上の措置を講ずる。

# 協議会を設置 いじめ防止に本腰



いじめ防止に全力を(写真は本文と関係ありません)

#### いじめの根絶に向けて

児童等の尊厳を保つことを目的とした「いじめ防止対策推進法」に則り、同法第14条の規定に基づいて、いじめ問題対策連絡協議会の設置が主な目的。

この条例は、協議会の設置及び運営に必要な事項を定め、いじめの防止等に関する機関及び団体の連携の推進に、必要な事項を協議し、当該機関及び団体相互の連絡調整を図るもの。

また、教育委員会の諮問に応じ、いじめ防止等のため、有効な対策や教育委員会が必要とする事項を定め、いじめの防止等に関する機関及び団体の連携の推進に、必要な事項を協議し、当該機関及び団体相互の連絡調整を図るもの。

#### 全員賛成により可決

平成28年4月1日より施行。

#### 職員給与改定

地方公務員法の一部が改正されたことに伴い関係条例の整備を行う。特殊勤務手当については、防疫等作業手当、用地交渉業務手当、災害応急作業等手当の三種に整理し、運用することになる。

#### 全員賛成により可決

#### 農業委員報酬引き上げ

川西町の農業経営体数、経営耕地面積を鑑みると、農業委員の業務は年々重要さを増している。

このような観点から農業委員の報酬を増額すべきであると提言がなされていた。

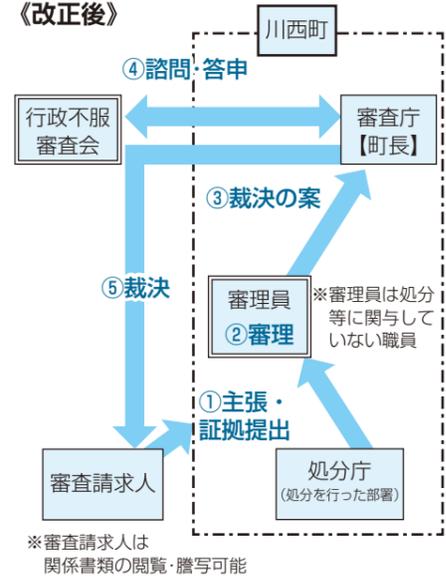
このたび、特別職の職員の給与に関する条例の一部改正が行われ、農業委員会委員の報酬を改正し、増額することとした。引き上げ額は会長、会長代理は年額2万円。委員は1万5千円。公布の日から施行し、平成27年4月1日から適用。

#### 全員賛成により可決

#### 行政不服申し立てを審査

行政不服審査法が施行されることに伴い、審査請求の採決の判断の適否を審査する付属機関として、事件ごとに行政不服審査会を設置するため、行政不服審査会条例を制定するとともに、関係条例を改正するもの。

#### 全員賛成により可決



#### その他議決された条例

条例内容	議決状況
川西町特別職の職員の給与に関する条例及び川西町教育長の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の設定	全員賛成で可決
川西町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成で可決
議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成で可決
川西町埋蔵文化財資料展示館条例の一部を改正する条例の制定	賛成多数で可決(反対1人)
川西町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び川西町指定密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の設定	全員賛成で可決
川西町介護保険条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成で可決
川西町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成で可決

# 人事

## 教育長の任命に同意

●小野 庄士 しょうしょうし 米沢市春日町



地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、平成28年4月1日付けで新たに教育長を任命するため提案された。

### プロフィール

- ・昭和53年4月 教員採用、県立米沢東高校配属
- ・平成2年4月 山形県教育庁指導課配属
- ・平成15年4月 高島高校校長に就任
- ・置賜農業高校校長 米沢工業高校校長を経て
- ・平成23年4月 米沢東高校校長に就任
- ・平成24年3月31日退職
- ・平成24年4月1日から本町教育長に就任、現在に至る

全員賛成で同意

## 教育委員会委員の任命に同意

●金子 正美 かねこ せいみ 川西町大字上小松



教育委員佐藤富士雄氏が平成28年3月31日をもって退任することに伴い、新たに教育委員を任命するため、提案された。

### プロフィール

- ・平成20年川西町立東沢小学校校長に就任。
- ・平成24年川西町立小松小学校校長に就任。
- ・平成28年3月31日退職。

全員賛成で同意

## 固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

●星野 謙司 ほしの けんじ (再任)

川西町大字吉田

同氏が、平成28年3月31日をもって任期満了となるため、提案された。

全員賛成で同意

## 人権擁護委員の諮問に同意

●安部 眞 あべ まこと (再任)

川西町大字下小松

同氏が平成28年6月30日をもって任期満了になるため、法務大臣より候補者の推薦の依頼があったので、議会に諮問された。

全員賛成で同意

## このように審査しました

請願名	請願者、紹介議員	所管	要点	審査の結果	本会議
奨学金制度の充実と教育費負担の軽減を求める請願について	一般社団法人山形労働者福祉協会 理事長 岡田 新一 紹介議員 高梨 勇吉	総務文教常任委員会	大学等において国の給付型奨学金制度の導入、高校を含めて拡充。当面貸与型奨学金は無利子とし、返済金は所得に応じて無理のない制度に。大学の学費値下げ、授業料の減免の拡充等の意見書提出。	採択	全員賛成で可決
人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める請願について	在日本大韓民国国民団 山形地方本部 団長 車 壽鎔 紹介議員 淀 秀夫		人種差別・民族差別をあおるヘイトスピーチ等を禁止することを求める意見書の提出。日本が批准を留保している、人種差別撤廃条約4条について留保の撤回を働きかけること。	審査未了	継続

## 請願

## 意見書

### 国に2意見書を提出

# 奨学金制度の充実求める

請願の採択及び陳情の審査を受けて、国に対して意見書を提出することとした。



奨学金制度を充実し、軽い負担で進学を

大学の初年度納付額が高騰の一方、家庭の収入は減少傾向にあり、奨学金に頼る学生が増加している。このような現況を踏まえ次の事項を強く要望する。

- 一、国の給付型奨学金制度導入、高校を含めた拡充。
- 二、貸与型奨学金無利子、所得に応じた返済制度の確立。
- 三、大学等学費引き下げ、授業料減免拡充の実行。

提出先 文部科学大臣他

全員賛成により可決

## 脳損傷・脳しんとうの周知・予防をはかれ

頭部に受けた軽度の衝撃や打撲で、記憶力・注意力の低下を来し、意識障害・味覚障害等が重篤になる。適切な措置を強く要望する。

- 一、教育機関で周知徹底と対策。
- 二、専門医診断と適切な検査の実施。
- 三、周知・啓発・予防措置推進、相談窓口の設置。
- 四、園内・学校内で発生した重大事故の再発防止。

提出先

厚生労働大臣他

全員賛成により可決

## 表紙の写真



### こぼれる笑み

今年もフレッシュな1年生の誕生だ。近年の洋服の流行はちよつとシックな、紺や黒が目立つ気がする。とても落ち着いた大人の雰囲気がある。

入学式を終えて、ほつとしたのが、友達とおしゃべりする姿は、無邪気なままで、まだまだあどけなさが残っている。素直な瞳で、いろいろなことに興味を持って、小学校生活をスタートし、友達をつくり、いっぱい楽しんでもらいたいものである。(小松小学校入学式より)

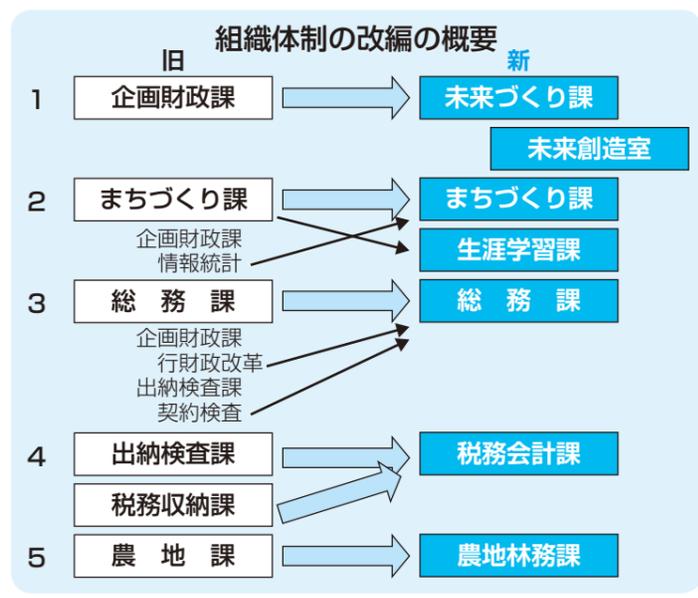
# 臨時会

## 役場

# 4月から組織体制見直し

# 新たに「未来創造室」

平成28年度からスタートする「かわにし未来ビジョン（第5次総合計画）」の推進にあたり、主要プロジェクトなどを機能的・効率的に施策展開が図られるよう、課・グループの組織及び担当する事務の見直しを行うもの。



### 第2回（2月）臨時会

組織体制の見直しを受け、課設置条例の一部を改正する条例が上げられた。  
 主な組織体制の内容は、かわにし未来ビジョンを推進するため、「未来づくり課」を設置する。また、課内に「未来創造室」を設置し主要プロジェクトを推進する。  
 ○まちづくり課の改編  
 生涯学習部門は教育委員会事務局に移管し、各地区交流センターとの連携は引き続き担う。また、情報発信強化の

### 第1回（1月）臨時会

「かわにし森のマルシェ」指定管理に  
 5月にオープンする「かわにし森のマルシェ」の指定管理について上程された。  
 指定管理者に、(株) かわにし森のマルシェ。管理期間は、平成28年2月1日から平成31年3月31日まで。指定管理料は、平成27年度222万円、28年度1350万円、29・30年度1375万円とした。

### 全員賛成により可決

税務会計課の設置  
 町税や税外収入など  
 町税や税外収入など  
 農地課の所掌事務をより的確に表すため農地林務課にする。  
 農地課の所掌事務をより的確に表すため農地林務課にする。

### 全員賛成により可決

平成27年度一般会計補正予算  
 円とした。  
 管理業務の内容は、○施設の管理運営に関する業務  
 ○農畜産物及び特産品等の展示及び販売並びに飲食物の提供に関する業務  
 ○施設及び設備の維持管理に関する業務  
 ○その他町長が必要と認める業務

## 3月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
議員名	伊藤 寿郎	伊藤 進	鈴木 幸廣	鈴木清左衛門	神村 建二	橋本 欣一	遠藤 章一	齊藤 智志	淀 秀夫	齋藤 修一	高梨 勇吉	金子 一郎	佐々木賢一	高橋 照夫	加藤 俊一
議第25号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第14号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第17号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第18号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

町提案31議案、請願審査2件、議員発議5議案で、上記以外は出席者全員賛成。  
 ○は賛成、×は反対 議長は賛否に加わらない。

### 議長交際費（議会活性化により公開することになりました）

10月から3月まで

年月	件数	金額	内容
27年10月	3	18,672	戦没者慰霊祭他
11月	4	43,226	東京川西会他
12月	3	20,000	置賜広域病院組合他
28年1月	0	0	
28年2月	0	0	
3月	0	0	
下半期合計	10	81,898	

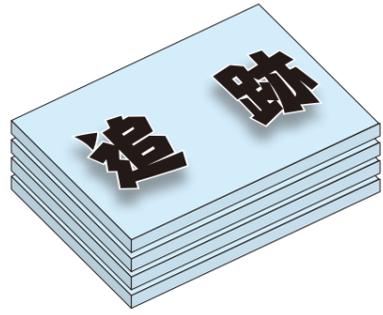
## 広報モニターから ひとこと ③



中郡 佐藤 忠栄 さん

先頃、川西町議会三  
 月定例会を傍聴し感じ  
 たことは、覇気がなく  
 仲良し集団ではどの第  
 一印象です。  
 過去に議会傍聴を体  
 験していますが、以前  
 のそれは、議員と町当  
 局とのやりとりには、  
 一種の自信と傲慢（議

案内容にもよるが）さ  
 えも感じたものです。  
 また、他市町の議会傍  
 聴も経験してありますが、  
 現在の川西町議会より  
 活発で、聴いてるほう  
 も楽しさがありました。  
 とはいえ、現在と過  
 去では行政環境や思考  
 が異なっている側面も  
 あり、一概に断じるこ  
 とはできないことも承  
 知しています。しかし、  
 議員各位においては、  
 自らの意志を通して現  
 在のポジションにある  
 わけですから、町民の  
 負託に応えるため切磋  
 琢磨、日々研鑽して頂  
 くことを希望します。  
 近年の地方自治体の  
 運営は、以前とは比較  
 にならない程多岐にわ  
 たり、広範囲な展開が  
 肝要とされている感が  
 あります。株式会社川  
 西町の役員として、町  
 民の先頭に立ち、将来  
 の後継者育成にも尽力  
 したいと思えます。



# あれから…… どうなった！

交流館年度別事業費

	工事費	監理費	計	工事概要
H24	4337万円	280万円	4617万円	校舎屋根など
H25	4960万円	315万円	5275万円	体育館屋根など
H26	4993万円	329万円	5322万円	校舎内の改修
H27	4989万円	317万円	5307万円	校舎内の改修
計	1億9281万円	1242万円	2億523万円	

端数処理のため合計額は合わない

この3月に当初の改修計画が完了した。今後は展示品の保管・収蔵庫の維持のための設備（空調）の整備も必要となる。さらに施設利用の取り決めなどの具体的な課題が残っている。

2階は、井上ひさし氏の蔵書「遅筆堂文庫」の閲覧コーナー、閉館中の町埋蔵文化財資料展示館を同施設に移設し、国指定史跡下小松古墳群出土の刀や銅鏡、土器などを保管

閉校当初、議会側からは、改修費はもちろん維持管理も含めると、相当の負担がでる。築15年で解体はもったいない。役場庁舎に再利用できないか、などの意見が出された。跡地利用で視察した

時、子どもの声がしない学校の寂しさで意気消沈した覚えがある。生まれ変わった施設を多くの人の声や息づかいで生き返らせてもらいたいものである。なお、1階の先人顕彰コーナーを中心に関係者とともに盛大なオープニングセレモニーが6月に開催される予定である。顕彰される5人は、井上ひさし氏、黒澤梧郎氏、本間喜一氏、高梨健吉氏、寒河江善秋氏。

この4月より「川西町交流館」(旧二中、愛称「あいばる」)がオープンを迎える。平成23年に川西中への統合により閉校した旧二中は、閉校

前から跡地利用がさまざま検討された。その結果、24年から4年間で2億523万円をかけ、現在の姿に改修したものである。

## 旧二中校舎の活用は

# 交流館としてフルオープン



多くの来館者で施設を生き返らせよう

旧二中は、置賜地方のほぼ中心に位置し、吾妻、飯豊、朝日、蔵王の山々が眺望できる地理的条件にある。「置賜一円からの人が集まり、置賜の歴史や文化を内外に発信したい。」との方針で整備が計画された。

2階に埋蔵文化財資料展示館  
施設の内容は、1階に、井上ひさし氏を含め川西町の5人の先人顕彰コーナー「アルカディア人物館」、多目的ホール、会議室、シヤワールームを配置し、町教育委員会生涯学習課が置かれる。

展示する。3階は、研修や合宿に対応できるように、和室の広間を配備し、簡易宿泊所や災害避難所としても活用する。

交流の拠点として大いに期待  
閉校当初、議会側からは、改修費はもちろん維持管理も含めると、相当の負担がでる。築15年で解体はもったいない。役場庁舎に再利用できないか、などの意見が出された。跡地利用で視察した

## 総務文教常任委員会

# 生まれ変わる旧二中

## 委員会 レポート



教室から、畳敷きの簡易宿泊所へ

2月29日、今年新たに衣替えをすることになった「川西町交流館」の視察調査を行った。調査の目的は、旧第二中学校が新しく生まれ変わり、新しい機能の交流館となる進捗状況の視察であった。

有する施設として利用できるようになる。新施設は、①先人顕彰コーナー、②埋蔵文化財資料館、③遅筆堂文庫分室、④調理実習室、⑤食堂、⑥合宿・宿泊施設、⑦町民アトリエ、⑧会議室、⑨音楽スタジオ、⑩屋内運動場、⑪屋外運動場などになり、幅広い利用が可能となる。トイレや冷暖房設備に多少問題が見られたので、今後の課題とすることを提言

また、現在の埋蔵文化財資料館は、今年解



山田店長から熱意のある説明を受けた

体されるとの報告を受けた。(P31参照)

まず、順調なスタートが切れるよう万全を期してもらいたい。

## 産業厚生常任委員会

# 「森のマルシェ」準備進む

2月17日、5月にオープンする「森のマルシェ」の準備状況の視察調査を行った。器具、テーブル、陳列棚などの内部備品がほぼ揃い、

開店の準備が整った。委員からは、地元商店との競合、商品の表示に生産者の写真を入れること、マルシェブ

ランド商品の開発、販売状況のメール配信、町内産と他地区産との差別販売などの質問、要望が出された。

# 議会広報全国コンクール2年連続最優秀賞 町民参加の紙面づくり評価

## 連覇は史上初

第30回町村議会広報全国コンクールにおいて、本町議会だより第121号が最優秀賞を受賞、2年連続の日本一に輝いた。

コンクールには、45都道府県262の町村議会から応募があり、議会

広報紙に対する意識の高さを証明する結果となった。

2年連続最優秀賞の受賞は、コンクール史上初めてであり、それだけに意義深く、喜びも一入(ひとしお)である。



全国町村議会議長会総会で最優秀賞を受賞

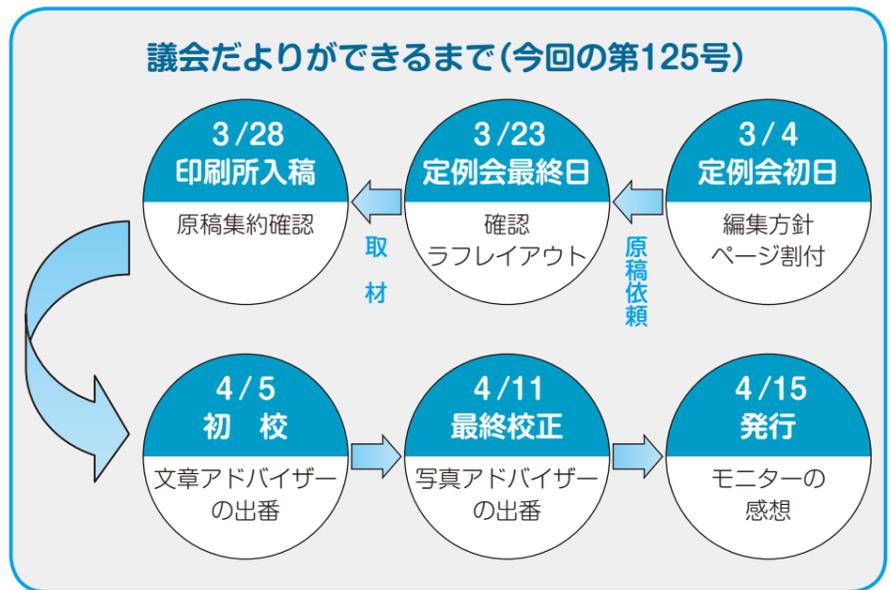
審査の総評によれば、「かわにし議会だよりは、1次審査で4人の審査員が4位以内にランク付けし、それだけ秀逸だったということになる」とある。

また、連続受賞が難しい理由を「ナンバードワンを競うライバル紙の編集者に、最優秀賞の所以(ゆえん)たるワザが盗まれ、トップを維持することは並大抵の努力では成し得な

い至難の業といえる」としている。

「そのような中で、川西町が今年も最優秀賞を受賞できた要因は、議会活性化の取り組みを、広報紙を通じて住民に伝えようとする姿勢にあったと思われる。是非一読され、ひしひしと伝わる編集委員の熱意を感じ取っていただきたい」と結んでいる。

全国の議会から目標とされる立場にあっても、広報の原点を忘れることなく、さらに進化させていきたい。



### 審査員 講評

「地方議会人」より抜粋

#### 読者参加の好事例を実現

山田 貞雄委員長

町民5人が登場して、予算審議へのひとこと、議会モニターによる傍

聴記、子育て最中の日々と社会への声を上手に導き受け止めている。とかく議会本来の直接発信に終始しがちな広報紙だが、読者の立場から発信という形



アドバイザーからの厳しい指摘で紙面上

で参加するという、悩みのひとつの答えを實現したともとれる。

見出しやリードに何を担わせるか。いかに長文を楽に読ませるか。そのために付された小見出し、約物、図表には、際限のない工夫と判断がうかがわれる。

#### 編集、表現 バランスの優れた広報

長岡 光弘審査員

定例会の主要情報のほか、住民参加の企画が充実している。政策検証の紙面も上手に編集されている。

各紙面とも、見出し、リードが設定され、文章も短文で、住民に情報概要の把握が容易に図れる。

力強い紙面編集が施され、フォント(字体)の使い方も適切。

編集及び表現ともにバランスの優れた議会だよりである。

#### 議会改革を推進する広聴広報の充実

芳野 政明審査員

巻頭の政策検証は、議会の政策提案機能や監視機能の発揮の可視化があり、議会改革を推進させる広聴広報の充実がうかがえる。

新年度予算概要と目玉予算、各段階の審議から課題や論点が示されるなど、議事公開度も高い。

的確な見出し、読みやすい記事、写真の効果的な配置など、企画技術ともに水準の高い編集である。

#### 基本を押さえた高い総合力

吉村 潔審査員

昨年の最優秀賞は、政策提言の広報であったが、今年は1年後の検証結果を公表しており、持続的な議会活動と広報を連動させた、意欲的な事例である。

特に優れているのは「読者に優しい広報」の実践。タイトルや見出しだけでアウトライン

がつかめ、余白のとり方、本文組の読みやすさなど、基本を押さえた総合力が高い評価につながった。



最優秀賞を受賞した第121号

まちの未来が見える(3月定例会の傍聴者は5人)

## 議会傍聴においでください

次の定例会は6月

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットでご覧になれます

# 町民の声

## 川西町って本当にいいかい



### ❖ プロフィール ❖

さがえなつこ  
**寒河江奈津子**

川西町大字下奥田在住  
会社員  
米沢市出身  
3児の母親で、子どものスポーツ大会の応援が大好き

中郡地区にお住いの、寒河江奈津子さんに、子育てや、町に望むことなどをお聞きました。

#### 屋号に戸惑い

川西に嫁いで18年。来たばかりの時はびっくりするところがたくさんありました。田んぼが多い、信号が少ない、隣の家まで遠い、屋号で呼ぶ。

屋号を知らなかった頃は、その人の名前だと勘違いしていました(笑)。いまだに覚えられません。

#### 学校環境が良い

子どもが小学校に入ったときは一クラスしかなく、人数が12人でした。人数が少ない分、先生の目が届きやすく、子どもたちの団結力もありました。

先生、教頭先生、校長先生との距離も近く、すごくいい環境の中で過ごせたとおもいます。

#### やさしさに安心

こんないい環境で育った長男が3月始めに県外の大学に進学しました。

キャッシュカードを初めて使い、すぐになくしてしまうということがあります。

銀行に行って話をしたら、受付の人が通帳を作った時のことを覚えていて、親身になって話を聞いてくれました。

どうしたらいいのかも親切に教えてもらい、安心することができました。

このように、行員、客というかしこまった



若いお母さん、家族に囲まれて

#### 街灯の増設を

関係ではなく、気軽に話ができるのも川西の良いところですね。

要望もあります。川西町は全体的に街灯が少なすぎます。

中学生になって部活動が始まると、帰りが遅くなり、自転車で学校に通ってる子を持つ親は心配です。

大人の私でも、人通りのない所に住んでいるので怖い時があります。通学路にはぜひ街灯を増やしてほしいです。

不便なところもあるけれど、それ以上に川西に嫁いで良かった。

### 編集のあとで

▼議会だよりが、町村議会全国広報コンクールにおいて2年連続の日本一に輝いた。町民参加型の紙面と読みやすいレイアウトが評価されたものである。▼  
▼議会は町民の皆様との対話を重視し、政策提言を行っている。今後、町民視点で紙面編集を重ね、さらに向上を目指していきたいと思っている。町民の皆様にご愛読頂けるよう頑張ります。(鈴木幸)

- 発行責任者 加藤 俊一
- 委員長 佐々木賢一
- 副委員長 橋本 欣一
- 委員 鈴木清左衛門
- 同 鈴木 幸廣
- 同 伊藤 進
- 同 伊藤 寿郎
- アドバイザー(文章) 金子 勤
- アドバイザー(写真) 青木 督平
- アドバイザー(写真) 齊藤 史郎